



一里塚跡

江戸幕府が日本橋を起点にして街道に一里塚を築かせたのは慶長9年(1604)とされる。天保年間の宿村大概帳には舞坂宿は江戸より67里16町に位置しており、この一里塚は左右の木立共松と書かれている。

しかし古老の話では大正時代まで一抱え半もある大きな榎の木が枝を四方に繁らせていたというから幕末の頃には榎の木が植っていたと解釈してよいだろう。

なお北側の一里塚は土地台帳に町有地としてわずかに名残りを留めているのみである。

山はみどり 野に花 人にはこころ

